

平成30年度 余部小学校の学校運営指針

校訓 「自治・礼儀・協同」

学校教育目標 ふるさとを誇りに 未来に向け 主体的に学び、挑戦する余部っ子の育成

【めざす子どもの姿】・主体的に学び、ともに高めあう子(知)・互いに認め支えあい、思いやりのある子(徳)・最後までやり抜く元気な子(体)

学校教育の視点 ～子どもに寄り添い、児童も教師もやる気と、学ぶよろこびを感じる学校～

- 1 基礎基本の定着と個・少人数を生かした学校づくりを進める
- 2 子ども同士、子どもと教師が人間的ふれあいを通じて温かさと思いやりの心を育てる学校づくりを進める
- 3 地域の教育力を生かし、特色あるふるさと教育を進めると共に、開かれた学校づくりを進める
- 4 本校の特性(少人数、複式学級、分校、併設幼稚園)を活かし、学年等の枠を超えた教育活動を進める
- 5 安全体制を整え、訓練や指導の強化工夫を図り、子どもの安全と自己防衛の育成を進める
- 6 子どもに対し愛情と責任を持ち、いじめ等の問題行動における組織的対応の充実と、わかる授業をめざし研究と修養に努め、機動的な組織集団として教育にあたる

少人数を生かした教育活動の推進

<p>「確かな学力」(知) ～主体的に学び、ともに高めあう子～</p> <p>①基礎基本の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかる授業の推進 ・音読指導の継続 ・繰り返し学習による知識・技能の定着 <p>②自ら考え、主体的に学ぶ力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いを伝え、聞き取り、話し合う力の育成 ・考える場を設定 ・見通しをもって学習できる力の育成 ・学習を振り返る態度の育成 ・「ほめる」「認める」を通じての指導 ・「つぶやき」を大事にする指導 <p>③学習規律の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「余部の学習10ヶ条」の徹底 ・学習用具の整理と忘れ物0(ゼロ) <p>④問題解決学習や言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見抜く力の育成 ・語彙力を広げる言語環境の充実 ・自分の思いを的確に伝える力の育成 <p>⑤読書活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本に接する機会の充実 ・校内読書週間の推進 ・読み聞かせボランティア「ふたば座」と連携した読書活動の推進 <p>⑥外国語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を用いたコミュニケーションを図ろうとする態度の育成 ・地域人材の活用 	<p>「豊かな心」(徳) ～互いに認め支えあい、思いやりのある子～</p> <p>①笑顔で自分から進んであいさつする子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域であいさつできる子 <p>②共に支えあい、協力できる子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心で声かけができる子 ・同級生、異年齢が互いに認め協力できる子 <p>③体験活動を通し、豊かな心を育む子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然学校、修学旅行、環境体験事業等の充実 ・飼育栽培、緑化、木育活動の推進 ・福祉体験活動の推進 <p>④道徳教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間の充実 ・兵庫県版道徳副読本の活用と公開授業 ・思いやりに満ちた人間関係の構築 <p>⑤人権・同和教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情の育成 ・共生社会に向けた心の育成 ・差別を見抜き許さない態度の育成 ・命の尊厳や他者とのつながりを大切にする心の育成 <p>⑥集団活動を通じた社会性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢集団活動や地域との交流 ・他校児童との交流 ・校種間交流 	<p>「健やかな体」(体) ～最後までやり抜く元気な子～</p> <p>①運動に親しむ子の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の創意工夫 ・運動の習慣化推進 ・遊びを通じた運動の推進 ・いろいろな運動に挑戦する子の育成 <p>②健康に関心を持ち、保持増進する態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、歯磨きの習慣化 ・「げんきしらべ」による健康観察 ・通信等を活用した啓発活動 ・授業等を通じて自分の体に関心を持ち、健康を維持する態度の育成 ・感染症、薬物被害等への理解と予防する能力の育成 <p>③食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食を核にした食育の推進 ・地域の特性を生かした食育の推進 ・家庭と連携した食育の推進 ・食に対して関心を高める指導の工夫 ・調理実習や食材の栽培等の体験活動を取り入れた指導
---	---	---

保護者・家庭、地域との連携

家庭・地域とともに創造・チャレンジする学校

<p>家庭との連携</p> <p>①家庭学習の定着</p> <p>めやす 低学年 20～30分 中学年 40～50分 高学年 50～60分</p> <p>②忘れ物0(ゼロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習用具は前日に準備 <p>③家読(うちどく)の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進週間の設定 <p>④「すてきな親子10ヶ条」の推進</p>	<p>家庭・地域との連携</p> <p>①あいさつのできる子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内、地域でのあいさつ習慣の推進 <p>②地域の教育力(教育資源)を生かしたふるさと教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育応援団との連携 ・地域の方との連携 ・総合的な学習の時間「鉄橋」を核としたふるさと教育の推進 	<p>家庭との連携</p> <p>①「早寝、早起き、朝ごはん」の推進</p> <p>②「手洗い、うがい、歯磨き」の推進</p> <p>③「ゲーム、情報機器のルール作り」の推進</p>
---	---	---

<p>地域・関係機関等と連携した教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクール ・学校、学年だよりの発行 ・学校ホームページの定期的な更新 ・地区公民活動との連携、参加 ・ひょうごがんばりタイム 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書ボランティア「ふたば座」との連携 ・「スポーツ21あまるべ」との連携 ・地域ボランティアとの連携 ・学校版教育環境会議の実施 ・地域人材を活用した英語教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の協力体制 ・声かけの推進 ・3つの町民運動の推進 ・校種間連携の推進 「学校間スーパー連携チャレンジプラン等」
--	--	---